

県央経営者会 会報

第十二号

発行：平成19年10月

ロマンスカーが地下鉄を走る日！ — 県央から都心まで一直線 —



左から、野上幹事、大泉会長、金子氏、黒田氏

かねてより県央経営者会では、県央の交通ネットワークの利便性を高める方策を提唱してまいりました。この活動の一環として、去る9月28日（金）に、大泉政治会長と幹事の野上 元氏、福島梧郎事務局長の3名で小田急電鉄本社を訪問いたしました。小田急電鉄さんでは、執行役員総務部長の金子一郎氏と交通企画部課長黒田聡氏のお二人が出席され、非常に和やかなまた実りある内容のお話をさせていただきました。

ここで、会員の皆様以下のご報告させていただきます。それは、ロマンスカーの地下鉄千代田線への乗り入れ問題です。

が、この問題は、昨年開かれた第一回公開例会でも話題になり、大泉会長からぜひ実現してほしいむね要望が出されました。それが、本年9月21日の新聞に発表された記事では、相模大野から湯島の区間でロマンスカーを運転する計画となっておりまして。

この発表以来、県央経営者会としましても、何とか相模大野以西への延伸を実現するべく活動をしてまいりましたが、今回この計画がいよいよ実現するという段階になりましたので、再度のお願いに小田急本社を訪問させていただきましたという事です。

この席で、大泉会長からは、県央までの延伸をぜひ実現していただきたい旨のお話をさせていただきましたが、これに対して、まだ正式な発表の段階ではないので、はつきりしたご返事はしかねますが、県央地域からの強いご希望は重々承知しておりますし、ご希望に沿いたいと考えておりますとの前向きな回答をいただきました。

県央経営者会では引き続き県央地域の交通ネットワークの利便性向上を目指して活動してまいりますので、会員の皆様のご支援をお願いいたします。

神奈川新聞

2006年（平成18年）9月21日 木曜日

小田急 新型ロマンスカー08年運転へ



2008年春に営業運転が開始される新型ロマンスカー「MSE」60000形

小田急電鉄は二十日、東京メトロ千代田線に乗り入れる特急ロマンスカーの新型車両「MSE」（60000形）を二〇〇七年九月に完成させ、〇八年春から営業運転を開始すると発表した。運行区間は小田急線町田・相模大野駅方面と、千代田線湯島駅との間。

主に平日の夕方から夜間の帰宅客向けに、座席指定特急として運行される。東京メトロ線内での座席指定車両は初めて。新型車両は六両編成二本と四両編成一本。製造は日本車両（名古屋市）が担当し、製造費総額は約三十八億円。二編成をつないだ十両編成での運

行が可能で、定員は五百七十八人となる。MSEは「Multi Super Express」の略で、「多彩な運行が可能な特急列車」を意味し、明るい青色を基調に、歴代ロマンスカーをイメージしたオレンジ色のラインが特徴。切り離し運転に備え、流線型と通路付きの二種類の先頭車がある。車内も、従来の通勤型の特急車両より十センチほど高い天井などゆとりを重視した。同社の大須賀頼彦社長は「都心部へ通勤するお客さまに上質な空間を提供できると確信している」とあいさつ。設計を手掛けた建築家の岡部憲明さんは「空や海のさわやかな色を地下に持ち込みたい」と説明した。小田急の特急ロマンスカーは当初、箱根への観光輸送を主眼に登場したが、最近では平日の通勤利用も増加。約三十分おきに運行される夕方以降の特急は、連日ほぼ満席の盛況という。同社は、座って帰れる「メリット」を沿線の付加価値向上につなげた

い考えた。（斉藤 大起）

第12回例会開催される



亀井善太郎衆議院議員



堀江則之県会議員



高山松太郎県会議員



福森 登秦野市議会議員



司会は金知出会員



県中央経営者会の第十二回の例会が、八月二十七日（月）に厚木商工会議所で開催されました。当日は50名ほどの会員が参加し、勉強会を行い密度の濃い例会でした。

今回の運営担当は海老名・座間地区で、金知出氏が司会を担当しました。まず、横手久枝氏の開会宣言に始まり、大泉政治会長の挨拶、亀井善太郎衆議院議員、県会議員の堀江則之氏、高山松太郎氏の挨拶がありました。また、前日の選挙で当選を果たした秦野市議会議員の福森 登氏の挨拶もありました。

次に、先日の第二回公開例会の一部を編集したDVDが上映され、「県央・湘南アクアシティ構想」の提唱が増田健治理事より行われました。この構想は、県中央経営者会の会員に初めて発表されるもので、かねてより「20年後プロジェクト」と題して、この県央地域の20年後の未来像を描くための研究をしてまいりましたが、より具体的な地域設定と目標作りを目に見えようにするための考え方です。また、この構想に一部リンクする「地域づくり

推進プラン」という考え方が県のほうにもあり、その推進責任者である神奈川県企画部政策課長の北村 明氏が「神奈川県の総合計画について―地域づくり推進プランと神奈川力構想―」と題して講演されました。パワーポイントを使ったわかりやすい発表で、時間的に制約があったにもかかわらず、手際の良いお話は大変参考になりました。

講演終了後の会員タイムで、北村正敏幹事長より新会員の紹介がありました。新会員は、次の三名です。

小原 正氏（東横工機株式会社）
 新川 勉氏（新川勉税理士事務所）
 服部 明氏（有有限会社 メイシンマテリアル）

また事務局より、10月の懇親旅行と第二回公開例会のDVD頒布の案内がありました。

最後に、高橋勝宏氏の閉会宣言により例会は無事終了しました。続いて一階の「レストランけやき」において懇親会が開催され、夜の更けるのも忘れてにぎやかな懇談が9時過ぎまで交わされました。

日時 平成19年8月27日（月）
 午後6時より7時50分
 会場 厚木商工会議所 5階大会議室

「県央・湘南アクアシティ構想」の提唱

「県央・湘南アクアシティ構想」推進委員会

委員長 増田 健治



県央・湘南アクアシティ構想については、かねてより県中央経営者会の活動方針として「20年後の県央」を描くことが取り上げられておりましたが、今回、県央・湘南アクアシティ構想を軸にした活動を提唱し、それに基づく20年後の未来都市「県央」の姿を確立していきたいと考えます。したがって、この提唱はこれからこの構想を検討していくというスタンスですので、是非会員の皆様から多くのご意見を賜り、構想の肉付けをしていきたいと存じます。



1. 「県央・湘南アクアシティ構想」誕生の経緯

県中央経営者会では、会の設立より一貫して県央地域の鉄道網をはじめとする交通ネットワーク整備の必要性を提唱してまいりました。第1回目の

公開例会（シンポジウム）においては小田急電鉄、相模鉄道の両社に働きかけて、その相互乗り入れ実現のための諸施策を検討するという、きわめて大きな成果を上げることができました。そして、本年6月に開催した第2回目の公開例会においては、県央の地域の経済活性化、特に県庁移転と新幹線新駅の設置という経済効果の大きい施策を取り上げて検討いたしました。以上の2回の公開例会においてはつきりしたことは、県央地域の経済活性化は鉄道網の整備とそれに伴う自然と共生する新しいまちづくりであるということです。特に自然との共生というテーマにおいては、相模川を軸とした広い視野にたつたまちづくりをすることが、未来都市「県央」を形作るキーであると認識いたしました。このような経緯により、県中央経営者会は、相模川の両岸に位置する市町村をひとつに融合する「県央・湘南アクアシティ構想」をここに提唱いたします。この構想は、相模川の流域に位置する各市町村、すなわち愛川町、座間市、厚木市、海老名市、平塚市、寒川町、茅ヶ崎市の5市2町とその周辺に位置する綾瀬市、清川村、伊勢原市、秦野市の3市1村の計8市2町1村が一つにまとまり、未来都市を形作るという壮大な構想です。ちなみにこれらの市町村が一つになると、138万人の大都市が誕生します。

2. 川を中心としたまちづくり

県央が一つの地域としてまとまるためには、相模川が大きな役割を担っています。道州制などの議論では、相模川を境界として東と西に分ける案が出ています。しかし、県央の地域はむしろ相模川を中心とした、湖と森に囲まれたすばらしい未来都市として一つのまちにまとまる方がよいと思います。そして、近未来においては相模縦貫道が相模川に沿って走り、第二東名や厚木秦野道路が出来つつあります。このように、交通網がその中心を求めて形作られつつあります。その中心点が県央・湘南という地域になるのは誰の目にも明らかです。

そこで、県中央経営者会では相模川という大きな川を中心とし、上流には宮ヶ瀬湖、下流には相模湾を要するまち、すなわち「県央・湘南アクアシティ」を未来都市として設定し、この構想を持つてわれわれの活動目標にしたいと考えます。

3. 今後の進め方について

まず、「県央・湘南アクアシティ構想」実行進委員会を発足させます。さらに構想実現のためのプロジェクトチームを立ち上げ、全会員が参加し、それぞれの場で議論を尽くして構想実現の設計図を描いていく。そして、2年後を目途に「県央・湘南アクアシティ構想」を中心とした県央・湘南の未来図コンペティションを開催し、県中央経営者会の基本構想にしたいと考えております。

掲示板

会社紹介

相続のご相談は相談相手選びが大切です。

戸籍の取寄せから、遺言執行、遺産整理まで一部でも、全部でも誠意対応します。

■相続 ■遺言 ■遺産分割 ■名義変更
■登記全般 ■生前贈与 ■相続税対策

石垣公雄司法書士事務所
☎046-221-5556
厚木市寿町3-4-5 米山ビル301



相談は無料です！お気軽にお問合せ下さい。【神奈川県全域対応】
【受付時間】平日/午前9時～午後5時（夜間及び土曜日は事前にお電話頂ければ対応します。）
【休 日】土曜日、日曜日、祝日

講演

神奈川県総合計画について

—地域づくり推進プランと神奈川力構想—



北村課長のお話は、Ⅰ.「総合計画」、Ⅱ.「地域の課題への対応」（地域づくり推進プラン）、Ⅲ.「県の政策推進に向けて」を三つに分けたわかりやすい内容でした。特に県央経営者会が提唱した「県央・湘南アクアシティ構想」を進めるに当たって、県の考え方とどう違うのか、構想実現のために何をしたらよいかを考えるよい機会でありました。今回の北村氏の講演内容はパワーポイントとで行われましたので、県央経営者会の「県央・湘南アクアシティ構想」に関連する要点のみパワーポイントの図版で紹介させていただきます。

事務局便り

10月懇親旅行のご案内

当初10月28日～29日に予定しておりました懇親旅行は、諸般の事情により、中止となりました。今後同様な企画については別途考えていきたいと思っております。ご了承下さい。

10月懇親例会のご案内

懇親旅行中止に伴い懇親例会を開催いたします。急なご案内で恐縮ですがご参加いただきますようお願い致します。

日時 10月29日(月) 19時より
会場 元湯(厚木飯山温泉)
参加費 一人六千円
※本厚木駅より送迎有り
場所 本厚木駅南口伊藤ビル前
集合 18時20分

第3回懇親ゴルフ大会のご案内

日時 11月5日(月)
コース 午前7時15分集合
本厚木カントリークラブ
組数 10組40人予定
参加費 一人五千円
※詳細内容につきましてはファックスとメールでご案内いたします。

次回例会のご案内

日時 12月3日(月)
午後6時より
会場 ロワジュールホテル厚木
講師 亀井善太郎衆議院議員